



はじめに		
000	神経難病患者のリスク管理	008
第1章	病期に沿ったリハビリテーション	
001	未告知時期の介入	020
002	告知直後の介入	024
003	不安、喪失が強い患者への介入	027
004	神経難病の制度を知らない患者への介入	030
コラム	入院しても在宅療養に関わるヘルパーが利用できる	033
005	遺伝性疾患を持つ患者への介入	035
006	神経難病患児への介入	038
007	医療・介護依存度が高まった時の介入	042
008	急変時の対応 DNAR	047
009	亡くなった時、亡くなった後で	050
コラム	霊安室でお別れをする時	053
第2章	治療に沿ったリハビリテーション	
010	経管栄養中のリハ介入	056
011	ステロイドパルスを行う患者への対応	059
012	免疫グロブリン大量静注療法を行う患者への対応	062
013	血漿交換を行う患者への対応	064
014	筋生検前後の対応	068
015	脳深部刺激療法術前後の対応について	071
016	特発性正常圧水頭症シャント術前後の対応	077
017	胃ろう造設術前後の対応	081
018	誤嚥防止術後の対応	084
019	非侵襲的陽圧換気療法人工呼吸器導入時期の対応	087
020	侵襲的人工呼吸器装着患者の社会参加～人工呼吸器装着患者は外出できないのか～	089
021	オピオイドを用いている患者への対応	094
コラム	病院の療養ケアにおける手順書やマニュアルの落とし穴	097
第3章	疾患別リハビリテーション	
022	筋萎縮性側索硬化症 疾患概要 症状、予後、治療	100
023	筋萎縮性側索硬化症 重症度分類・評価表	105
024	筋萎縮性側索硬化症への筋力運動（負荷量の目安）が有効か？	109
025	筋萎縮性側索硬化症 転倒対策はあるか？	113
026	筋萎縮性側索硬化症 下肢痙縮に伴う歩行障害の対策はあるか？	117
コラム	本邦から生まれたロボットスーツHAL [®] を用いた治療	122
027	筋萎縮性側索硬化症の頸部下垂に対する対策	124
028	肩の痛みを訴える筋萎縮性側索硬化症患者に対してどのように考えるか？	127
029	筋萎縮性側索硬化症 コミュニケーションを維持する対策はあるか？	133
030	筋萎縮性側索硬化症 流涎の対策はあるか？	138
031	筋萎縮性側索硬化症 誤嚥の予防対策（嚥下機能からみる）はあるか？	142
032	筋萎縮性側索硬化症 誤嚥性肺炎の予防対策（咳嗽力からみる）はあるか？	147
033	筋萎縮性側索硬化症に呼吸筋トレーニングは有効か？	151
034	筋萎縮性側索硬化症 非侵襲的人工呼吸器を継続するコツはあるか？	154
035	筋萎縮性側索硬化症 排痰ケアのコツはあるか？	161
036	筋萎縮性側索硬化症 在宅環境調整の指導のポイントはあるか？	169

コラム	神経難病リハビリテーション研究会から仲間を作ろう	174
037	パーキンソン病 疾患概要 症状、予後、治療	175
038	パーキンソン病 重症度分類・評価表	180
039	パーキンソン病のリハ評価と介入の視点	182
040	パーキンソン病への筋力増強練習は有効か？(負荷量の目安)	186
コラム	パーキンソン病患者の持久力練習は高負荷が良い	189
041	パーキンソン病・多系統萎縮症 転倒対策はあるか	190
042	パーキンソン病・多系統萎縮症 首下がり腰曲がりの介入はあるか-1	194
043	パーキンソン病・多系統萎縮症 首下がり腰曲がりの介入はあるか-2	200
044	パーキンソン病の側屈姿勢に対して有効なリハビリテーション介入はあるか？	205
045	パーキンソン病・多系統萎縮症 上肢機能障害に対する補装具やADL指導はあるか？	209
046	パーキンソン病 コミュニケーションを維持する対策はあるか？	213
047	パーキンソン病 流涎の対策はあるか？	217
048	パーキンソン病の嚥下障害の対策はあるか？	222
049	パーキンソン病に呼吸筋トレーニングは有効か？ 誤嚥性肺炎の予防対策はあるか？	228
050	wearing-off、on-offの対策はあるか？	232
051	パーキンソン病・多系統萎縮症 起立性低血圧の対策はあるか？	235
052	パーキンソン病 BWSOT/BWSTTを有効に使うコツはあるか？	238
053	パーキンソン病 在宅環境調整の指導のポイントはありますか？	241
コラム	すくみ足とイップスは似ている？	245
054	多系統萎縮症 疾患概要 症状、予後、治療	247
055	多系統萎縮症 重症度分類・評価表	252
056	多系統萎縮症 リハビリテーション評価と介入の視点	257
057	多系統萎縮症にはどのような運動療法(負荷量の目安)が有効か？	263
058	多系統萎縮症 コミュニケーションを維持する対策はあるか？	267
059	多系統萎縮症 誤嚥の予防対策(嚥下機能からみる)はあるか？	270
060	多系統萎縮症の排痰ケアのコツはあるか？	275
061	多系統萎縮症患者に呼吸筋トレーニングは有効か？	280
062	多系統萎縮症 持続的陽圧換気療法/非侵襲的陽圧換気療法の使い方、適応、禁忌について	284
063	多系統萎縮症 在宅環境調整の指導のポイントは？	291
コラム	様々な認定看護師制度	295
064	脊髄小脳変性症 疾患概要 症状、予後、治療	297
065	脊髄小脳変性症 重症度分類・評価表	302
066	脊髄小脳変性症 リハビリテーション評価と介入の視点	307
067	脊髄小脳変性症にはどのような筋力練習(負荷量の目安)有効か？	312
068	脊髄小脳変性症 転倒対策はあるか？	316
069	脊髄小脳変性症 上肢機能障害に対する補装具やADL指導はあるか？	320
070	脊髄小脳変性症 BWSOT/BWSTTを有効に使うコツはあるか？	324
071	脊髄小脳変性症 下肢痙性に伴う歩行障害の対策はあるか？	329
072	脊髄小脳変性症のコミュニケーションを維持する対策はあるのか？	332
073	脊髄小脳変性症の嚥下障害	335
074	脊髄小脳変性症 誤嚥性肺炎の予防対策(咳嗽から見る)はあるか？	340
075	脊髄小脳変性症 在宅環境調整の指導のポイントについて	345
コラム	BWSOTがなくても免荷歩行器を使う	349
076	多発性硬化症 疾患概要 症状、予後、治療	350
077	多発性硬化症 重症度分類・評価表	354
078	多発性硬化症 リハビリテーション評価と介入の視点	358
079	多発性硬化症 どのような運動療法(負荷量の目安)が有効か？	363
080	多発性硬化症の下肢痙性に伴う歩行障害の対策はあるか？	367
081	多発性硬化症の嚥下障害の対策はあるか？	371
コラム	担当患者を語るセラピストになるという意味	374

第4章	神経難病リハビリテーションをより深めるために	
082	神経難病で用いる運動機能評価	376
083	病棟での転倒予防対策	383
084	ウートフや疲労に注意する	385
085	神経難病の呼吸ケアをきわめる	390
086	多系統萎縮症の突然死を防ぐ	398
087	舌咽頭呼吸（カエル呼吸）は習得できる	404
088	血液ガス分析を極めた呼吸リハは強い 神経難病患者の呼吸障害を理解するために	412
089	患者会で働くセラピストの意義	417
090	長期非侵襲的陽圧換気療法を装着した時の支援の覚悟	422
091	筋萎縮性側索硬化症 人工呼吸器装着患者でも嚥下、会話、歩行はできる	427
092	筋萎縮性側索硬化症 人工呼吸器患者の陰性徴候と拘縮	431
093	コミュニケーションを取る達人（諦めない）になるためには	439
094	自分の声を残す意味	443
095	お楽しみレベルの経口摂取と味覚刺激について	451
096	自転車に乗れるのがパーキンソン病 Bicycle Sign	457
097	隠れた筋強剛、固縮を洗い出す	459
098	パーキンソン病の保険外診療でここまでやれる	461
099	抗パーキンソン病薬を極めたリハビリテーションができる	466
コラム	パーキンソン病のギャンブラーに注意する	470
100	パーキンソン病 PD の悪性症候群・Parkinsonism-hyperpyrexia syndrome を知る	471
101	すくみ足に外的刺激（視覚、聴覚）は使うべきか	473
102	ジスキネジア、ジストニアにも対応するリハビリテーション	478
103	パーキンソン病 パーキンソン病関連疾患における臥床患者は介助すれば歩行が可能	482
104	運動失調患者の四肢遠位部の重錘使用の是非	489
105	バランス能力を診るとのこと	492
106	脊髄小脳変性症 遺伝病型によってリハ内容が全く違う	498
107	構造 MRI を臨床でどう活かすか	503
コラム	神経難病リハにまつわる国際学会にチャレンジしてみよう!!	509